

蚊 に対する対策

蚊は、刺されたら、不快であるばかりでなく、いろいろな感染症を媒介することがあります。

蚊を発生させないように、また蚊に刺されないように日頃から心がけましょう。

主な蚊の種類

ヒトスジシマカ

ヤブカとも呼ばれます。

成虫は体長約 4~5 mm、全体が黒色で、背中に一本白いたて線があり、足の関節部にも帯状に白い部分があります。

国内には東北の北部と北海道を除く全国に生息し、5月頃から10月下旬頃まで活動します。

一日のうち活動するのは主に昼間で、移動範囲は半径 100m程度と狭く、幼虫は小さな水たまりに発生します。

デング熱やチクングニア熱を媒介することがあります。



ヒトスジシマカ

アカイエカ

成虫は体長約 5.5 mm、全体が茶褐色で、国内には全国に生息し、冬季以外は活動します。

成虫は、縁の下や洞穴などで越冬します。

幼虫は主に下水溝、防火水槽、雨水ます、ドブ、庭の池などのやや汚い溜まり水に発生します。

自然環境より人家周辺の汚い溜まり水を好むため、市街地の家屋内によく侵入します。

一日のうち活動するのは主に夜間で、移動範囲は広く数kmに及ぶこともあります。

ウエストナイル熱を媒介することがあります。



アカイエカ

蚊を発生させないように

水たまりをなくすことが対策の基本です。

幼虫対策

蚊は水際や水面に卵を産み付け、幼虫（ボウフラ）やサナギのうちは水中で育ちます。つまり、水がないと発生しませんが、ほんの少したまった水にも発生します。蚊を防ぐためには、蚊を発生させないように、発生源となる水たまりなどに対する対策が最も重要となります。

蚊の幼虫の発生しやすい場所



植木鉢の受け皿



放置された古タイヤ



空き缶



雨水ます



排水ます



屋外の水生植物の容器

- 蚊は、植木鉢の受け皿、屋外の放置容器（空き缶、空きビン、ペットボトル、バケツ、じょうろ など）、屋外に放置された古タイヤ、子どものおもちゃ、雨水ますや排水溝、ブロックの穴、竹の切り株、雨よけのシート、詰まった雨どい、墓地の花立てなどにほんの少したまった水でも発生します。

蚊を発生させないためには

水が取り除ける場合

- 野ざらしで雨水のたまる容器や子どものおもちゃなどは、片付けるか逆さに伏せて水がたまらないようにしましょう。
- 放置された空き缶や空きビンなど不要なものはできるだけ片付けましょう。
- また植木鉢の受け皿の水はこまめに捨てましょう。
- 古タイヤにはシートをかぶせるか、雨のかからない場所に置きましょう。
- ブロックの穴などはコンクリートや土、充填剤などで埋めましょう。
- 雨よけシートなどは、たるんでくぼみができないようにしましょう。

水が取り除けない場合

- 防火水槽や排水ますなど、水を除くことができないものには、ふたをしったり防虫網を掛けたりして、成虫が侵入しないようにしましょう。
- 防火水槽や庭の池は、金魚やメダカを放つとボウフラを食べてくれます。

蚊に刺されないように

成虫対策

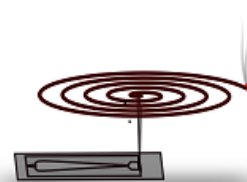


屋外では

- 蚊の成虫は、風通しの悪い草むら、やぶ、木が密集しているところなどに多く集まります。定期的に草刈りや剪定をして風通しをよくし、蚊が潜みにくくしましょう。
- 蚊の多い場所に行くときは、長袖シャツ、長ズボンなどを着用し、素足でのサンダルばきを避けるなど、肌を露出しないようにしましょう。
- 必要に応じて市販の虫よけ剤（忌避剤）を使いましょう。
※虫よけ剤は使用上の注意を必ず守りましょう。

屋内では

- 蚊取り線香、蚊取りマット、殺虫剤等を使用しましょう。
※薬剤を使用する場合は、使用上の注意を必ず守りましょう。
- 戸の開閉を減らし、蚊が侵入しないようにしましょう。
- 網戸や防虫網を設置し、網戸の破れや窓枠の隙間等は補修しましょう。



蚊の駆除等についてのご相談・駆除の依頼については

一般社団法人奈良県ペストコントロール協会

電話：0742-23-7312

URL：<http://www.pestcontrol.or.jp/pcga/kinki/nara.htm>

※内容によっては有料となります。